# ConMas Manager
# ラベル管理/自動ラベルの設定

2024-11-20

© CIMTOPS Corporation.

# 改訂履歴

| 日付 | バージョン | 記載ページ | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2012-10-23 | V2.1 | – | 初版を発行しました。 |
| 2013-08-30 | V3.1 | P5 | ドキュメントラベルが新規追加された事を追記。 |
| | | P7 | 新しくなったラベルのツリー表示説明を追記。 |
| | | P8 | 新しくなったラベルの作成・削除操作を追記。 |
| | | P9 | ラベルのグループ別参照権限設定操作を追記。 |
| 2015-06-16 | V5.0 | P27 | クラスター入力値を帳票備考にコピーする説明を追記。 |
| 2015-08-03 | V5.0<br>機能強化版<br>その２ | P8,P9 | ラベル検索とページ切替表示を追記 |
| | | P20 | 自動ラベルの位置設定についての説明を追記。 |
| | | P21 | 自動ラベル命名規則（半角スラッシュの扱い）についての記述を追記。 |
| | | P28 | 帳票更新時に自動ラベルを動作させる説明を追記。 |
| 2016-05-26 | V5.2 | P5 | 図書ラベルにフリードロー用画像を追記しました。 |
| 2018-04-03 | V6.0 | P27 | クラスター入力値コピーの詳細ドキュメントについて参照先を修正しました。 |
| 2019-09-03 | V6.3 | P33 | ローカル帳票ラベルについての説明を追記。 |
| 2021-10-12 | -- | -- | 設定画面の画像を、ConMasManager7.3.20090<br>および i-Reporter V8関連のものに更新しました。 |
| | -- | P7 | ラベルの一覧表示の説明を削除。 |

© CIMTOPS Corporation.

# 改訂履歴

| 日付 | バージョン | 記載ページ | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2024-11-20 | V8.1.24110 | P.22,P23 | 自動ラベル命名規則（clusterDisplayValue_S_C, clusterValue_S_C）についての説明を追記。 |

© CIMTOPS Corporation.

# 目次

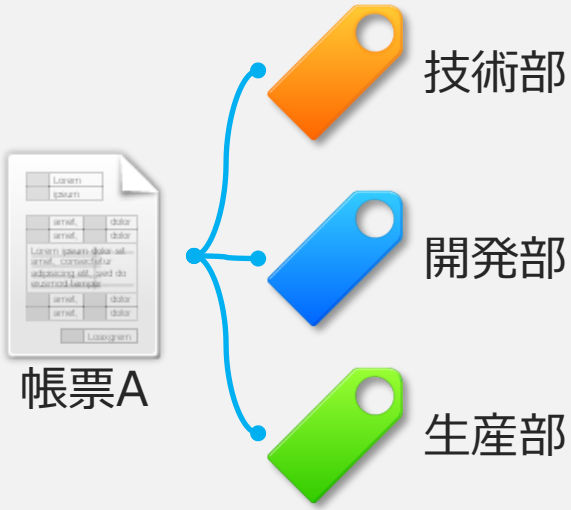

- ラベルについて　4
- ラベル管理　5
- ラベルの階層　6
- ラベルツリー表示　7
- ラベルの作成・削除　8
- ラベル検索とページ切替表示　9
- ラベル検索仕様　10
- ラベルの編集　ラベル情報　11
- ラベルの編集　グループ別権限情報　12
- 帳票へのラベルの自動付与とは　13
- 自動ラベル設定～生成までの流れ　14
- ラベル管理での自動ラベルの作成　15～21
- 帳票定義に自動ラベルを設定する　22～24
- ラベルの自動付与　25
- クラスター入力値と帳票備考を連携させる　27
- 帳票更新時の自動ラベル動作　28
- ローカル帳票ラベルについて　33


© CIMTOPS Corporation.

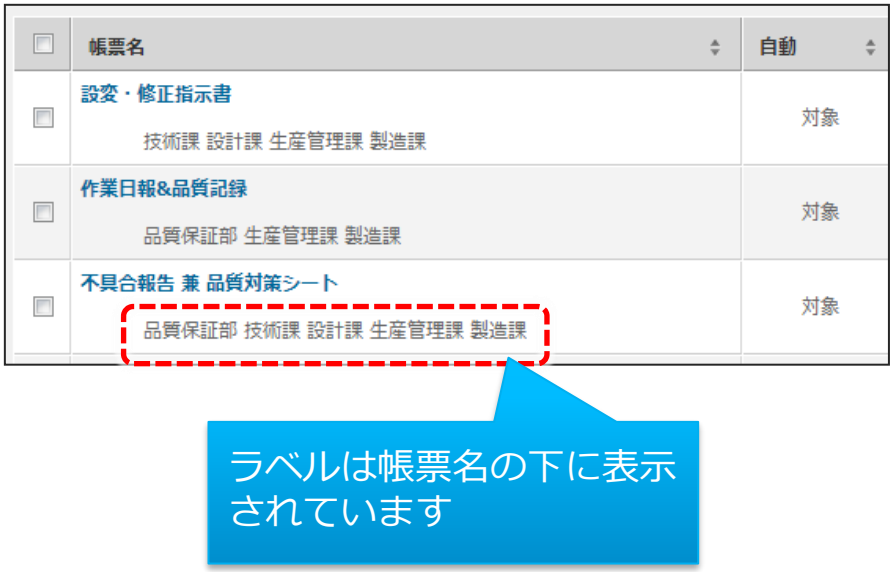
# ラベルについて

## 1つの帳票に複数のラベルをつけて管理できます

- ConMasでは帳票データーの整理をフォルダではなくラベルで行ないます。
- フォルダ管理では「帳票をフォルダに入れる」ことになりますが、ラベル管理では**「帳票にラベルをつける」**ことになります。1つの帳票には複数のラベルをつけることができます。




帳票Aは、「技術部」ラベルで絞り込んだ場合でも「開発部」ラベルで絞り込んだ場合でも一覧に表示されます。



# ラベル管理

帳票定義、入力帳票用のラベル、
図書ラベルの共通ドキュメント、帳票別ドキュメント、フリードロー用画像のラベル、
カスタムマスターラベルを設定します

- メニューの「ラベル管理」へ移動すると、帳票定義のラベル一覧画面が表示されます。
- ラベルを新規作成するには右上の追加ボタン、既存ラベルを編集するには、編集するラベル名称をクリックします。

# ラベルの階層

- ラベルは階層化できます。親となるラベルは先に作成しておく必要があります。
- 階層化した場合、一覧のラベル名称には親、先祖のラベルがスラッシュ区切りで表示されます。

- 親A
  - 親B
    - 子ラベル

→ 親A/親B/子ラベル

ラベル一覧以外の、ツリー表示やライブラリなどではラベル自身の名称のみ表示されます

ラベル一覧での表示

ラベルツリーでの表示

# ラベルツリー表示

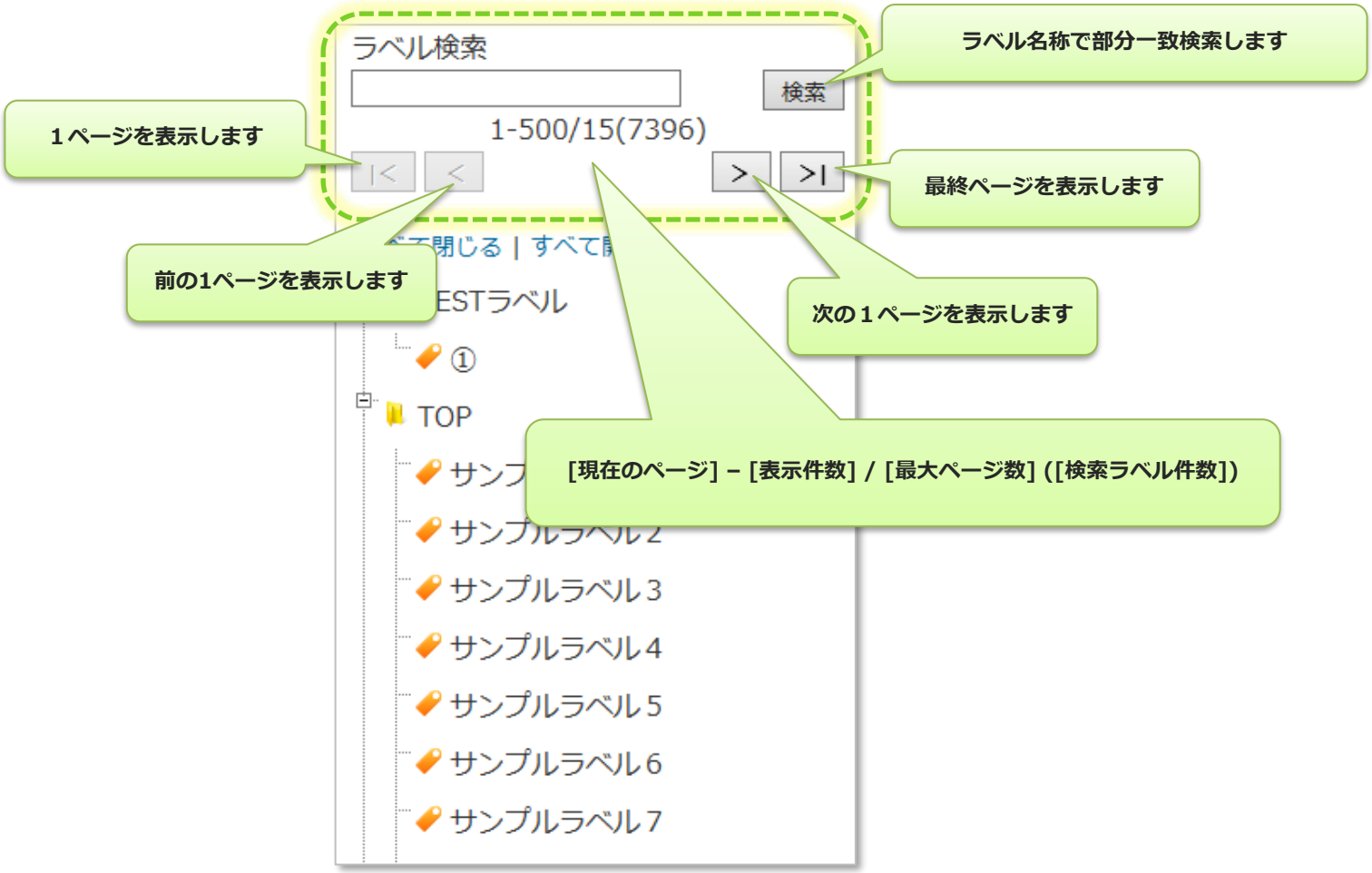
ラベルをツリーで表示します。

- ツリー表示にてラベルの階層を表示します。
- この画面上でラベルの作成、削除を行えます。

# ラベル検索とページ切替表示

ラベル名称の検索により、ツリーを絞り込み表示します。

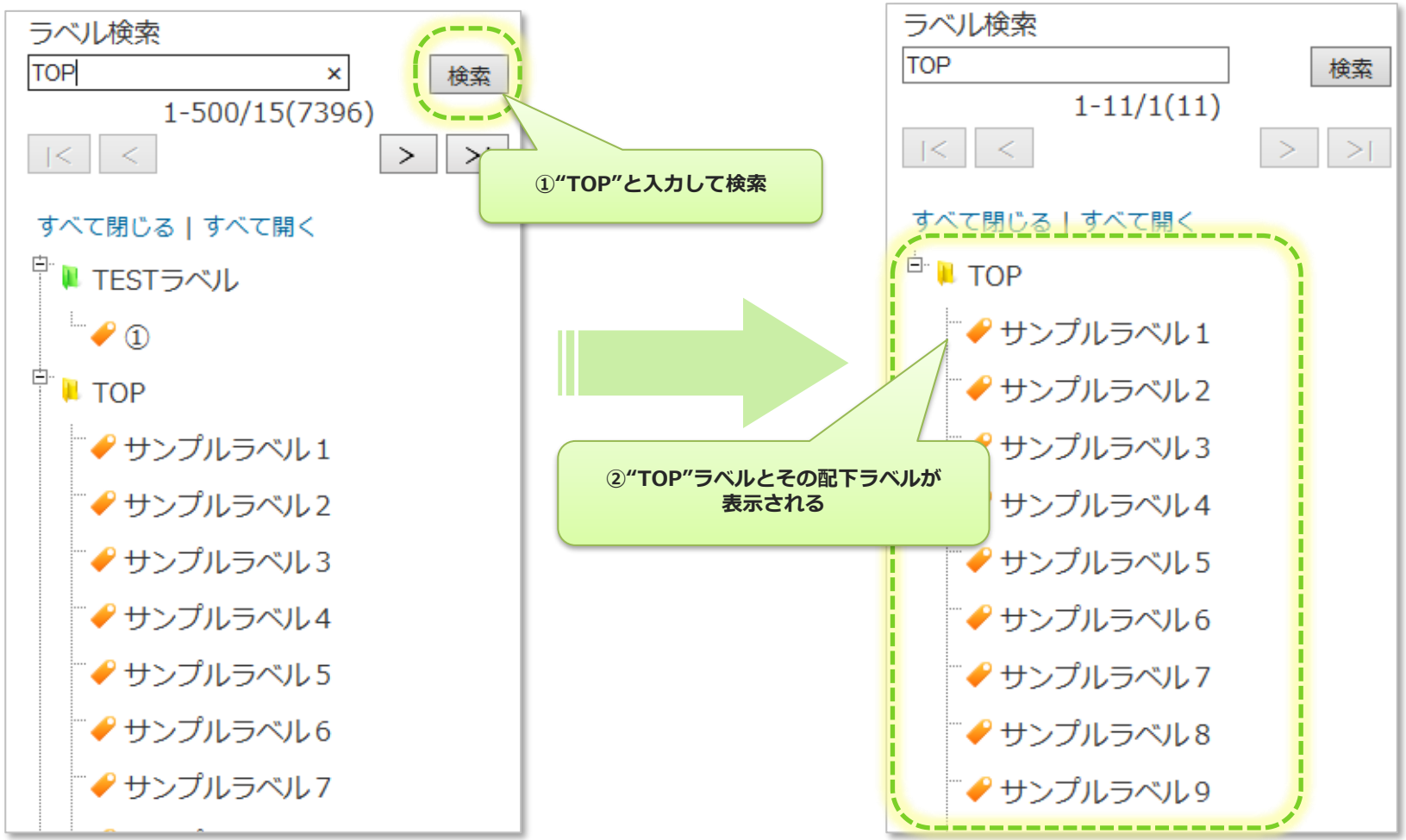
- 一度に表示できるラベル件数は500件までです。500件を超える場合は、ページを切り替えて表示します。



# ラベル検索仕様

検索対象となったラベルの配下にあるラベルも表示します。

例）

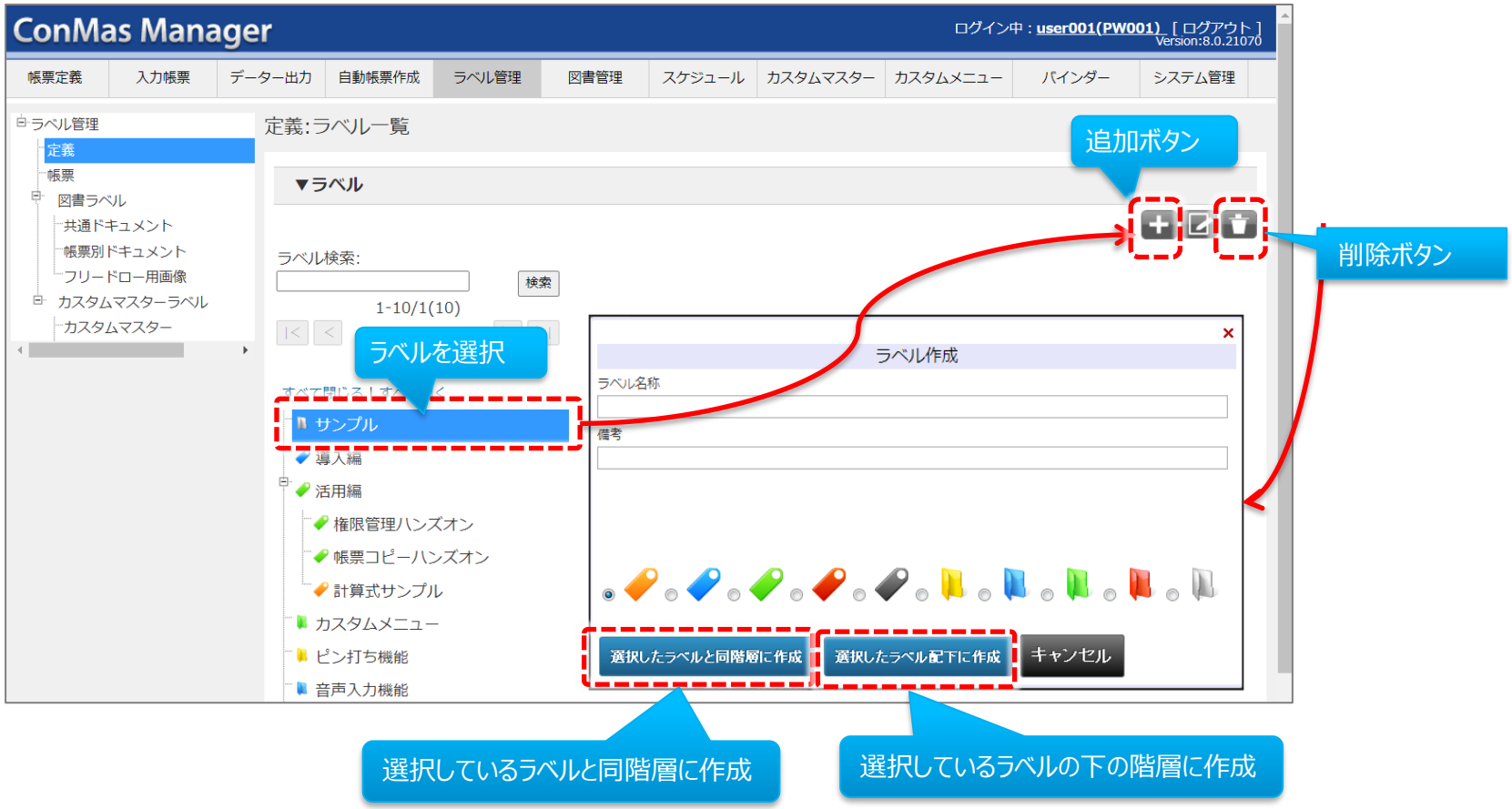



© CIMTOPS Corporation.

# ラベルの作成・削除

ツリー表示中にラベルの作成、削除が行えます。

- ラベルを追加するには　画面右上の追加＋ボタンをクリックします。
- 既存のラベルの下に新たなラベルを追加したい場合には、その既存のラベルを選択した状態で追加＋ボタンをクリックします。何もラベルを選択していない場合には最上位の階層にラベルは作成されます。
- 削除ボタンをクリックして選択しているラベルを削除出来ます。



# ラベルの編集　ラベル情報

ラベルの各属性情報を設定します。

- ラベルの編集画面を表示します。ラベルの編集画面では、▼ラベル情報、▼グループ別権限情報の２つを編集します。
- ▼ラベル情報において、ラベルの属性情報を入力します。

# ラベルの編集　グループ別権限情報

グループ別権限情報を設定します。
Manager、Designer、iPadアプリ全てにおいてログインユーザーの参照権限のあるラベルのみが表示されるようになりました。

- グループ毎にラベルの参照可否が設定出来ます。
- “権限設定なし”にチェックすると従来通り、全グループが見えるラベルとなります。
  ※権限設定をする場合は、”権限設定なし”のチェックを外します。

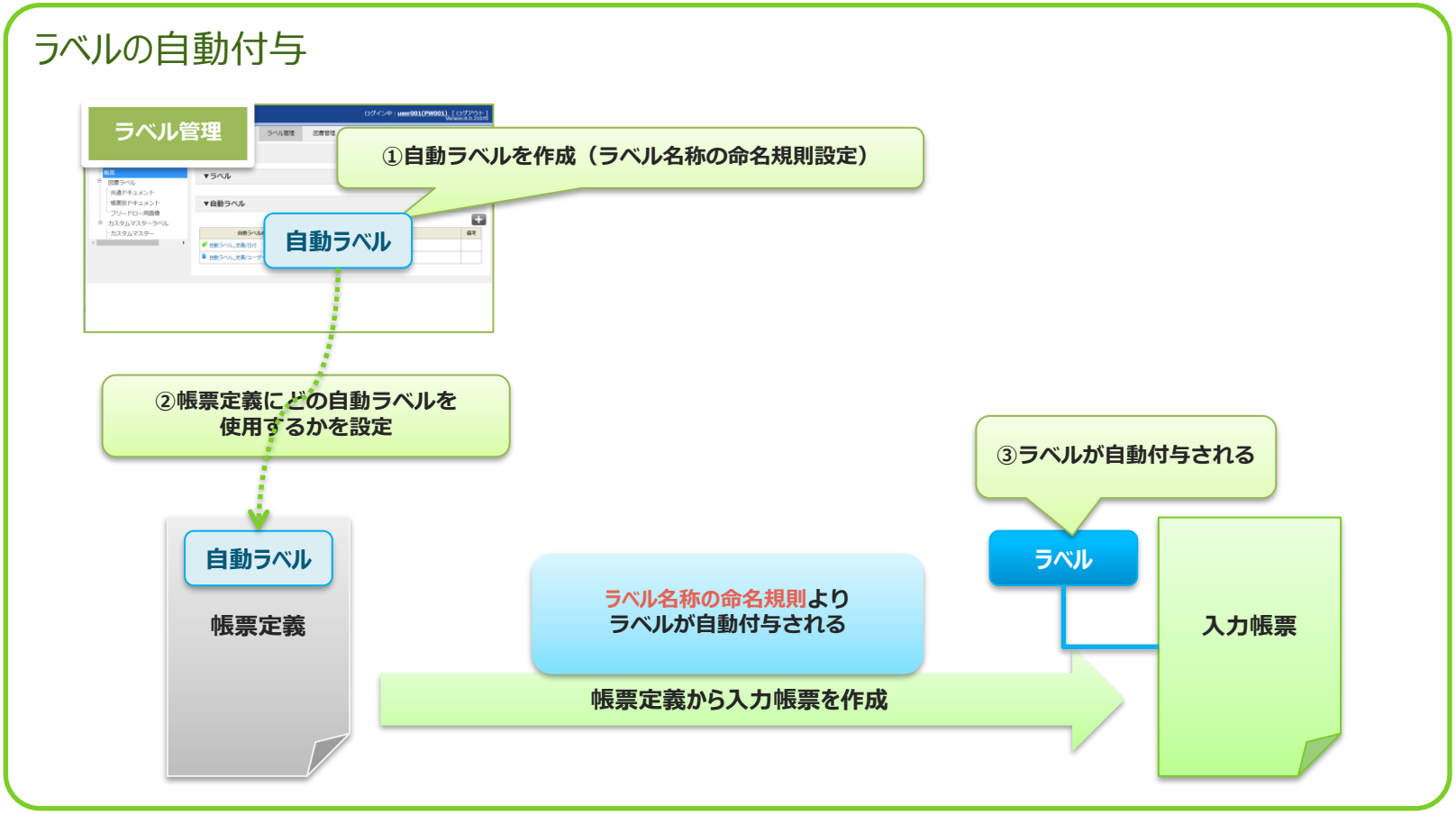
権限設定する場合は、チェックをはずします。
権限設定しない場合は、チェックします。

グループ毎に参照可能、不可の設定を行います。
※設定する際は、権限設定なしのチェックをはずします。
また、最上部のチェックボックスを使用して
一括設定が行えます。

© CIMTOPS Corporation.

# 帳票へのラベルの自動付与とは

- あらかじめ帳票定義にラベルを自動で付与する設定を行っておくと、その帳票定義から帳票を作成した時に、**ラベル名称の命名規則**に従って、動的なラベルが自動で付与されます。
- ラベルの自動付与を使用すれば、帳票作成後にマニュアルでラベル設定を行う必要なく、決まった規則によって付与されるラベルを使用した帳票の管理を行う事が可能になります。



# 自動ラベル設定～生成までの流れ

1．ラベル管理で自動ラベルを作成（ラベル名称の命名規則の設定）

2．帳票定義にどの自動ラベルを使用するかを設定

3．サーバー保存時、帳票に自動でラベルを付与

© CIMTOPS Corporation.

# ラベル管理での自動ラベルの作成

## メニュー「ラベル管理」をクリックして、ラベル管理画面を表示します。

- 自動ラベルは、帳票で使用するラベルとして設定します。帳票定義には自動ラベルを作成できません。
- 「帳票」を選択して自動ラベルの「＋」ボタンをクリックすると自動ラベル登録画面が表示されます。

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル管理より、自動ラベルを作成します。

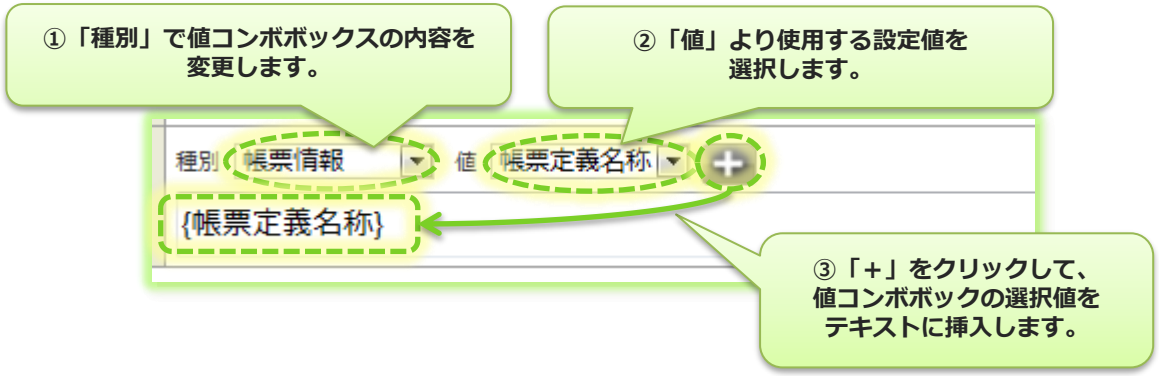
- ラベル名称の命名規則を設定します。（次ページで説明します。）

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル名称の命名規則

- 入力できる文字
  - 任意の文字列
    セミコロン“;”は入力出来ません。
    スラッシュ”/”は入力した位置で階層化されます。
  - 値コンボボックスの選択値 ※値コンボボックス一覧参照。
    **※値コンボボックスを使用するとラベル名称が値の内容で動的に命名されるラベルを作る事が出来ます。**

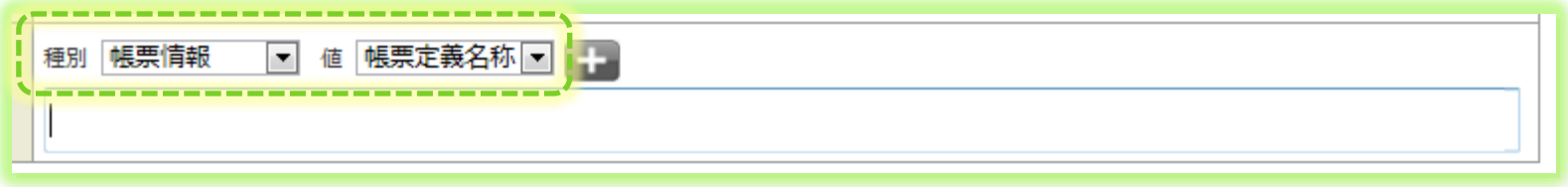
- 値コンボボックスの使用方法



# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## 値コンボボックス一覧

- ラベル名称の命名規則に設定すると、以下説明の内容で置換されます。
  この値を使用する事で、帳票定義、入力帳票、作成日時の内容によって動的なラベルを設定する事が可能になります。



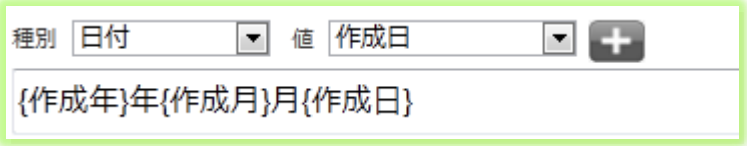

| 種別 | 値 | 説明 |
|---|---|---|
| 帳票情報 | 帳票定義名称 | 帳票定義名称に置換されます。 |
| | 入力帳票名称 | 入力帳票名称に置換されます。 |
| | 帳票備考１～１０ | 帳票備考１～１０に置換されます。 |
| | clusterDisplayValue_S_C | クラスター表示値に置換されます。 |
| | clusterValue_S_C | クラスター値に置換されます。 |
| 日付 | 作成年 | 作成した年”yyyy”形式で置換されます。 |
| | 作成月 | 作成した月”MM”形式で置換されます。 |
| | 作成日 | 作成した日”dd”形式で置換されます。 |
| | 作成時刻（時間） | 作成した時間”HH”形式で置換されます。 |
| | 作成時刻（分） | 作成した分”mm”形式で置換されます。 |
| | 作成時刻（秒） | 作成した秒”ss”形式で置換されます。 |
| ユーザー情報 | 作成ユーザーID | 作成したユーザーIDで置換されます。 |
| | 作成ユーザー名称 | 作成したユーザー名称で置換されます。 |

© CIMTOPS Corporation.

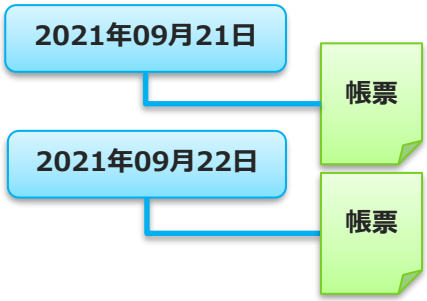
# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル名称の命名規則の設定例

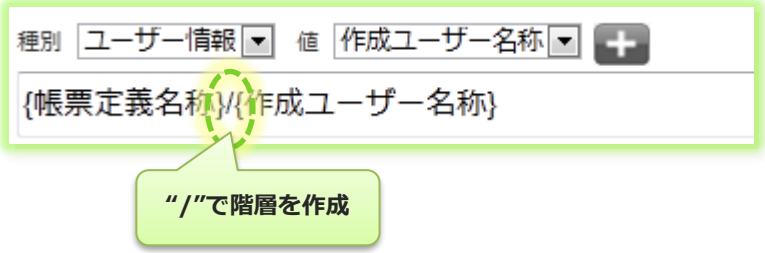
### 例）入力帳票の作成日ごとにラベルを作成する



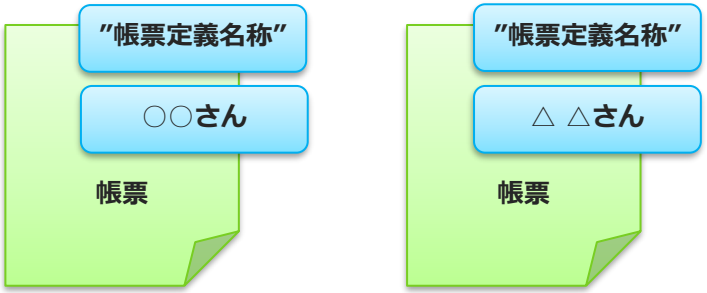

**“入力帳票作成日”毎のラベルが生成されます。**




### 例）帳票定義名称ラベル配下に帳票作成者ごとのラベルを作成する




**“帳票定義名称”配下に”帳票作成者”毎のラベルが生成されます。**



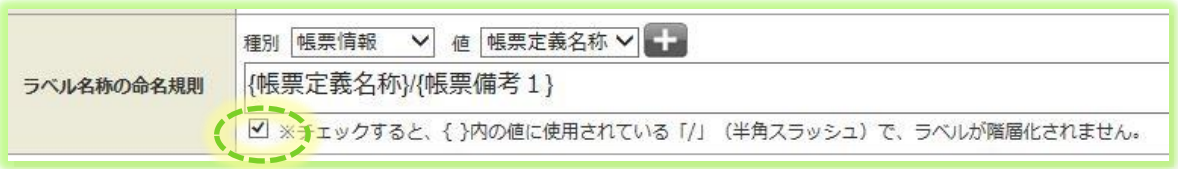

© CIMTOPS Corporation.

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル名称の命名規則（**「/」（半角スラッシュ）**について）

ラベル名称の命名規則に、**「/」（半角スラッシュ）**がある場合、ラベルは階層化されます。
命名規則で **｛ ｝内に指定した値**に、**「/」（半角スラッシュ）**が含まれた場合も階層として扱っていましたが、
この **｛ ｝内の「/」（半角スラッシュ）**を**「階層化する」**か**「階層化しない」**かの選択が出来るようになりました。

**※｛ ｝外で使用されている「/」（半角スラッシュ）は必ず階層として扱われます。**

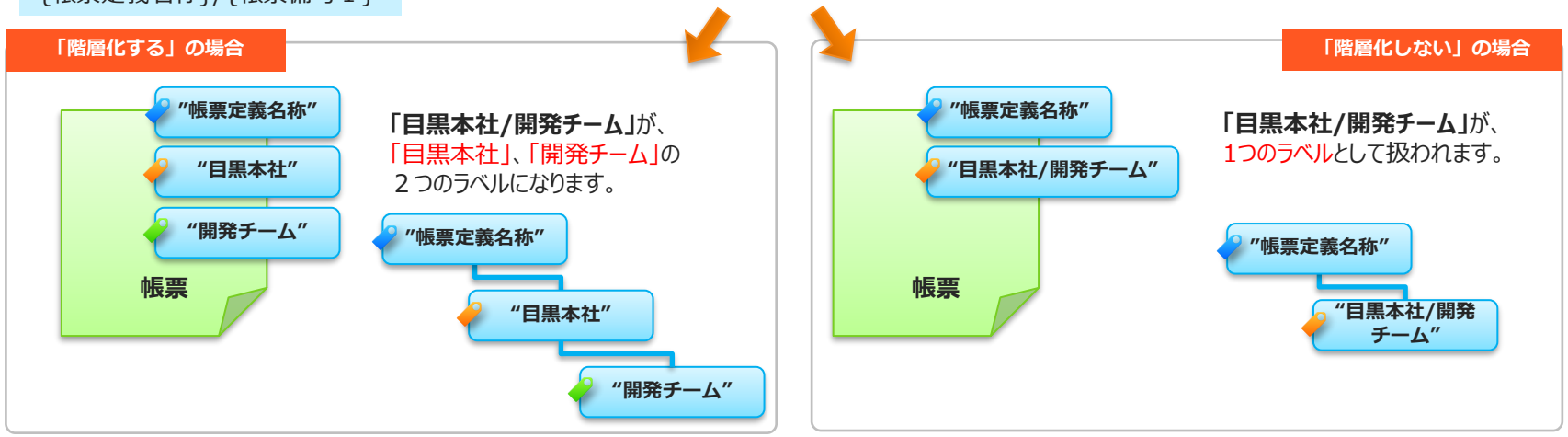



**チェックを入れると、**
**｛｝でくくられた値に「/」（半角スラッシュ）が存在してもラベルが階層化されません。**
**※デフォルトは「階層化する」です。**

【例】①命名規則を下記のように設定

{帳票定義名称}/{帳票備考１}

②**帳票備考１**に、**「目黒本社/開発チーム」**と入力された帳票を作成する




© CIMTOPS Corporation.

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル名称の命名規則
## （clusterDisplayValue_S_C, clisterValue_S_Cについて）

・**クラスター表示値**を設定する場合は、**「clusterDisplayValue_S_C」** を設定します。
・**クラスター値を設定**する場合は、**「clusterValue_S_C」** を設定します。
指定したいクラスターの「シートNo.」を「S」に、「クラスターindex」を「C」に入力します。

※ クラスター表示値：指定したクラスターに表示された値、クラスター値：指定したクラスターに入力された値

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

## ラベル名称の命名規則（クラスター表示値・クラスター値指定の対応種別）

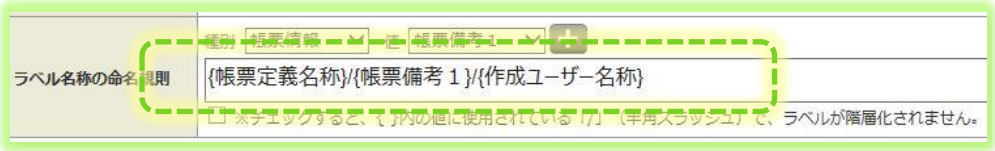
- **対応**
  - キーボードテキスト
  - 手書きデジタル
  - 数値選択
  - 数値
  - 時間数
  - 計算式
  - 年月日
  - カレンダー年月日
  - 時刻
  - 時刻計算
  - トグル選択
  - トグル集計
  - 単一選択
  - 複数選択
  - 帳票登録者
  - 帳票登録年月日
  - 帳票更新者
  - バーコード
  - コードリーダー
  - マスター選択
  - ログインユーザー

- **非対応**
  - 手書きノート形式
  - 手書きフリーメモ
  - フリードロー
  - チェック
  - 画像
  - 作成
  - 査閲
  - 承認
  - GPS位置情報
  - アクション
  - ピン打ち
  - ピンNo.配置
  - ピンNo.
  - 録音
  - SCANDIT

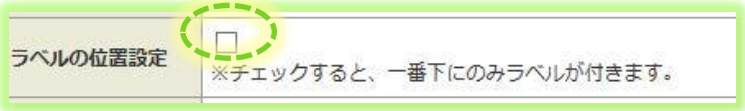
© CIMTOPS Corporation.

# ▼ ラベル管理での自動ラベルの作成

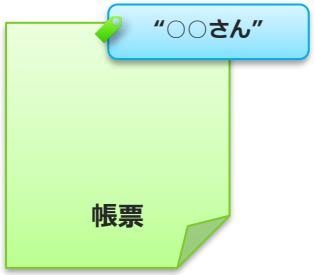
## ラベルの位置設定

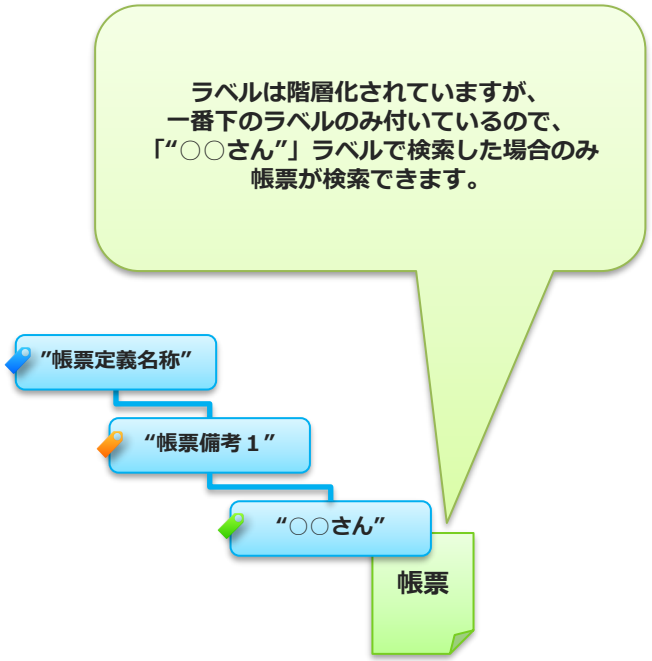



ラベル名称の命名規則にて、**{帳票定義名称}/{帳票備考１}/{作成ユーザー名称}** のように階層設定している場合、
作成された入力帳票には、**「帳票定義名称」**、**「帳票備考１」**、**「作成ユーザー名称」**の**3つのラベル**が付きます。




ラベルの位置設定にチェックを入れておくことで、
階層の一番下の**「作成ユーザー名称」**のラベルのみを付けることが出来ます。

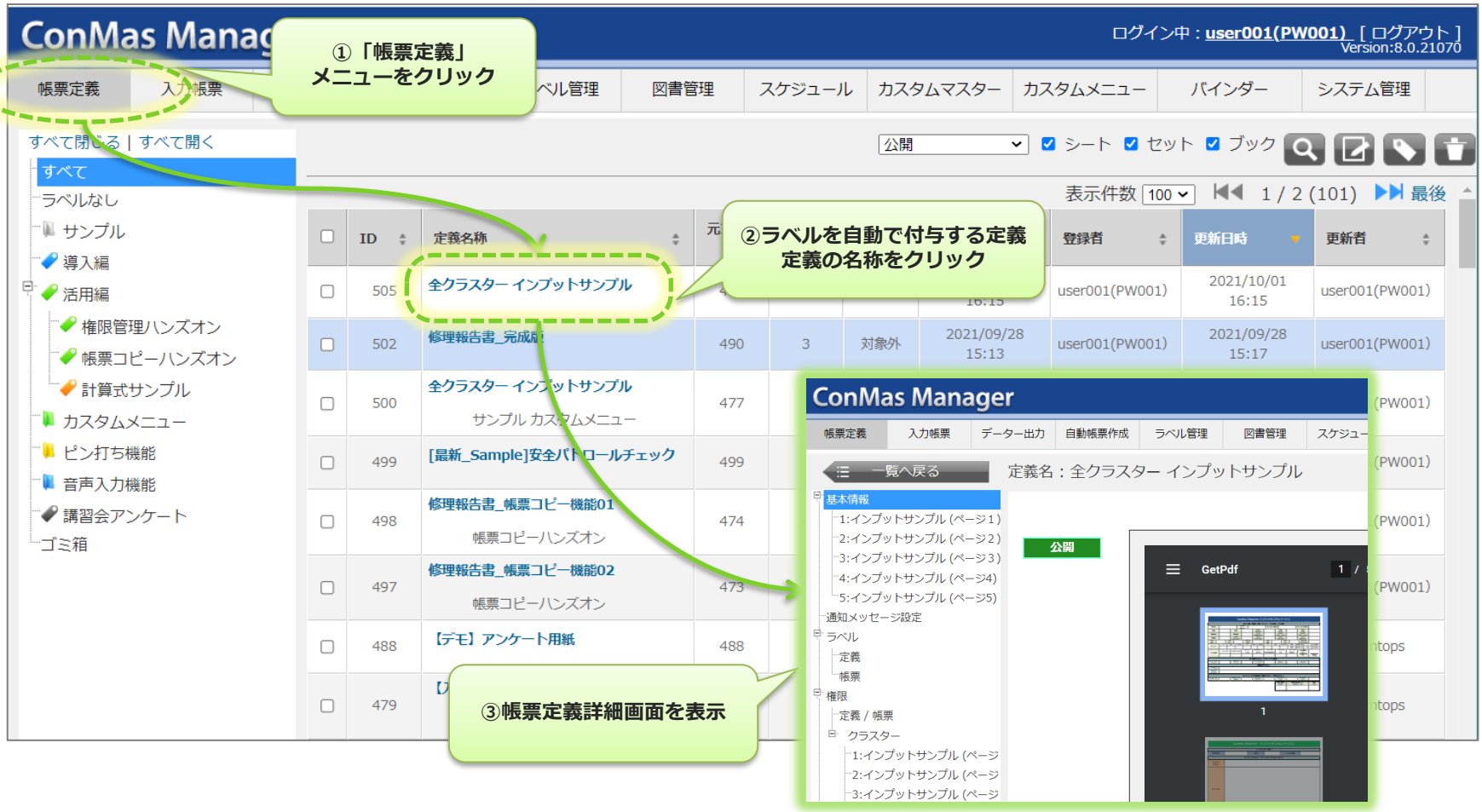


# 帳票定義に自動ラベルを設定する

## メニュー「帳票定義」をクリックして、帳票定義一覧画面を表示します。

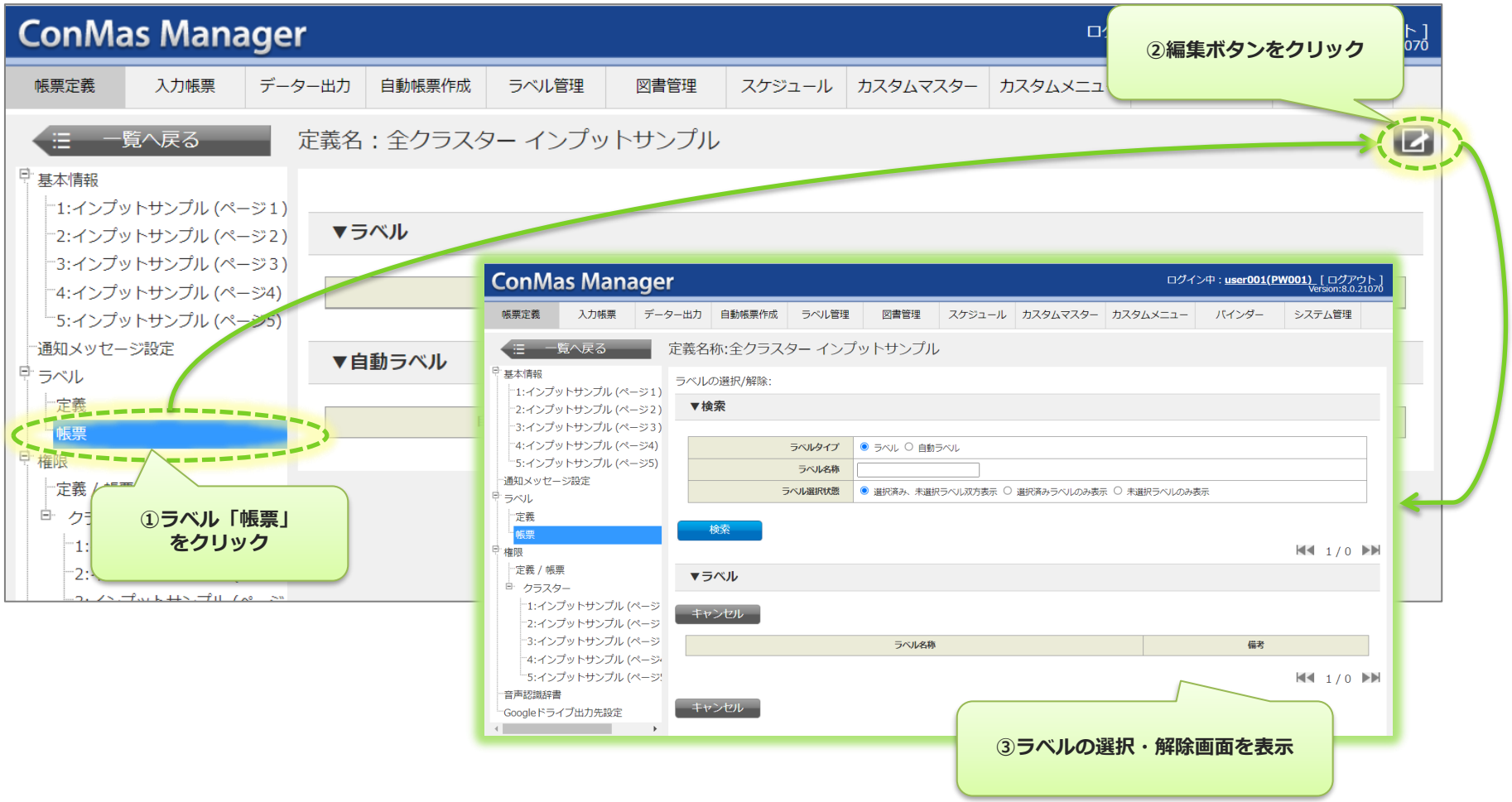
- 帳票定義一覧よりラベルを自動で付与する定義の名称をクリックして、帳票定義詳細画面を表示します。



# ▼ 帳票定義に自動ラベルを設定する

## 帳票定義詳細画面を表示します。

- ラベル欄の”帳票”をクリックします。
- 編集ボタンをクリックして、ラベルの選択・解除画面を表示します。



# ▼ 帳票定義に自動ラベルを設定する

## 帳票定義に自動ラベルを設定します。

- 自動ラベルのラジオボタンにチェックをし、検索ボタンをクリックします。
- ▼自動ラベルの一覧より設定する自動ラベルにチェックをいれます。
  ※複数選択可能
- 登録ボタンをクリックすると、帳票定義に自動ラベルが設定されます。

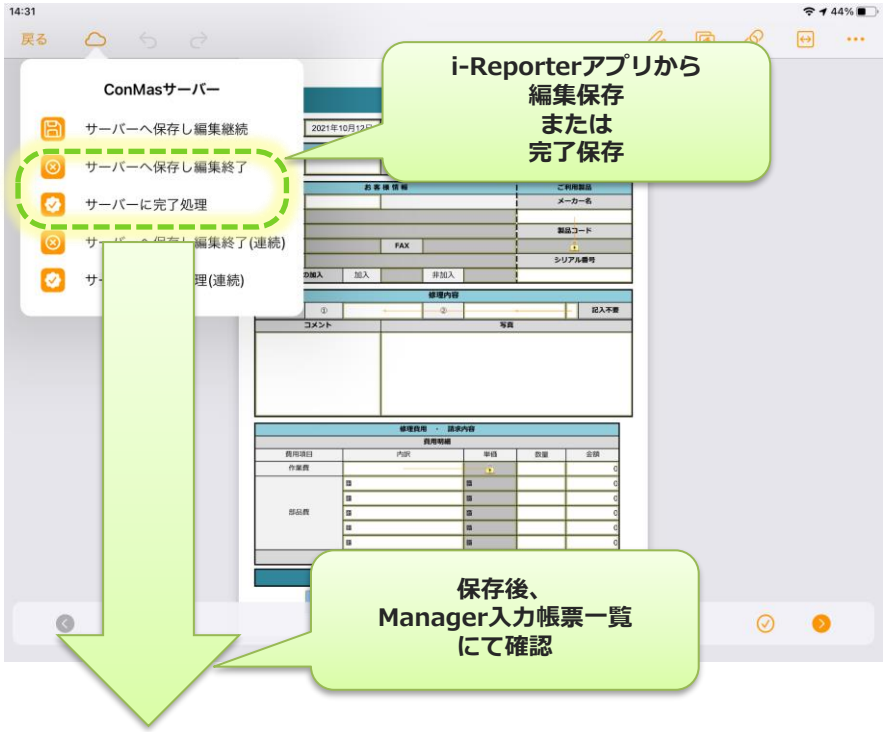
## 以上で、ラベルの自動付与設定は完了です。

# ラベルの自動付与

## ラベルの自動付与タイミング

- i-Reporterアプリにおいて、自動ラベルを設定した帳票定義から、入力帳票を作成し、
**「編集中保存」、「完了保存」**をすることにより、サーバーの保存処理においてラベルが自動で付与されます。
※「本体に一時保存」ではラベルの自動付与は行われません。

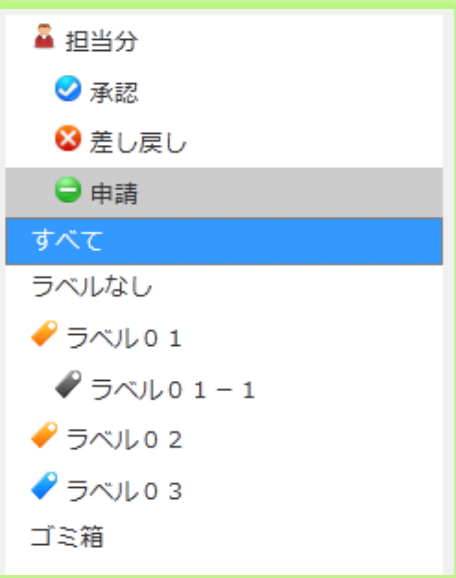
例）
帳票定義名：サンプル定義０１
ラベル名称の命名規則：{帳票定義名称}/{作成年}-{作成月}-{作成日}

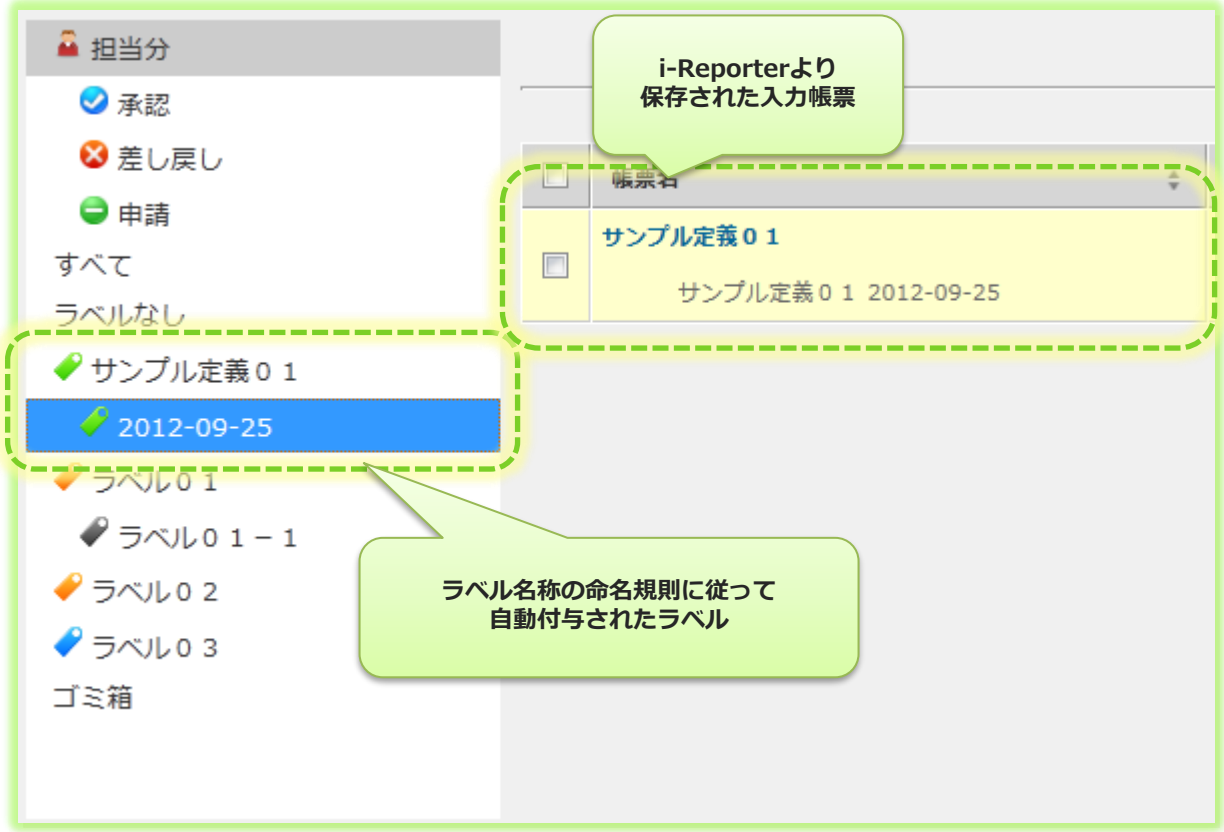


# ▼ ラベルの自動付与

入力帳票一覧

自動付与前のラベル一覧



# クラスター入力値を帳票備考にコピーする

クラスターの入力値を、自動ラベルで使用することが出来るようになりました。

1．Designerで帳票定義に、クラスターと帳票備考を連携するよう設定を行う

設定はDesignerで行います

2．ラベル管理で自動ラベルを作成（ラベル名称の命名規則にて“帳票備考”を使用するよう設定）

3．サーバー保存時、クラスター入力値が帳票備考にコピーされ、帳票に自動でラベルを付与

- クラスター入力値コピーの詳細は、
  「クラスター入力値を帳票備考、システムキーにコピー」をご参照ください。

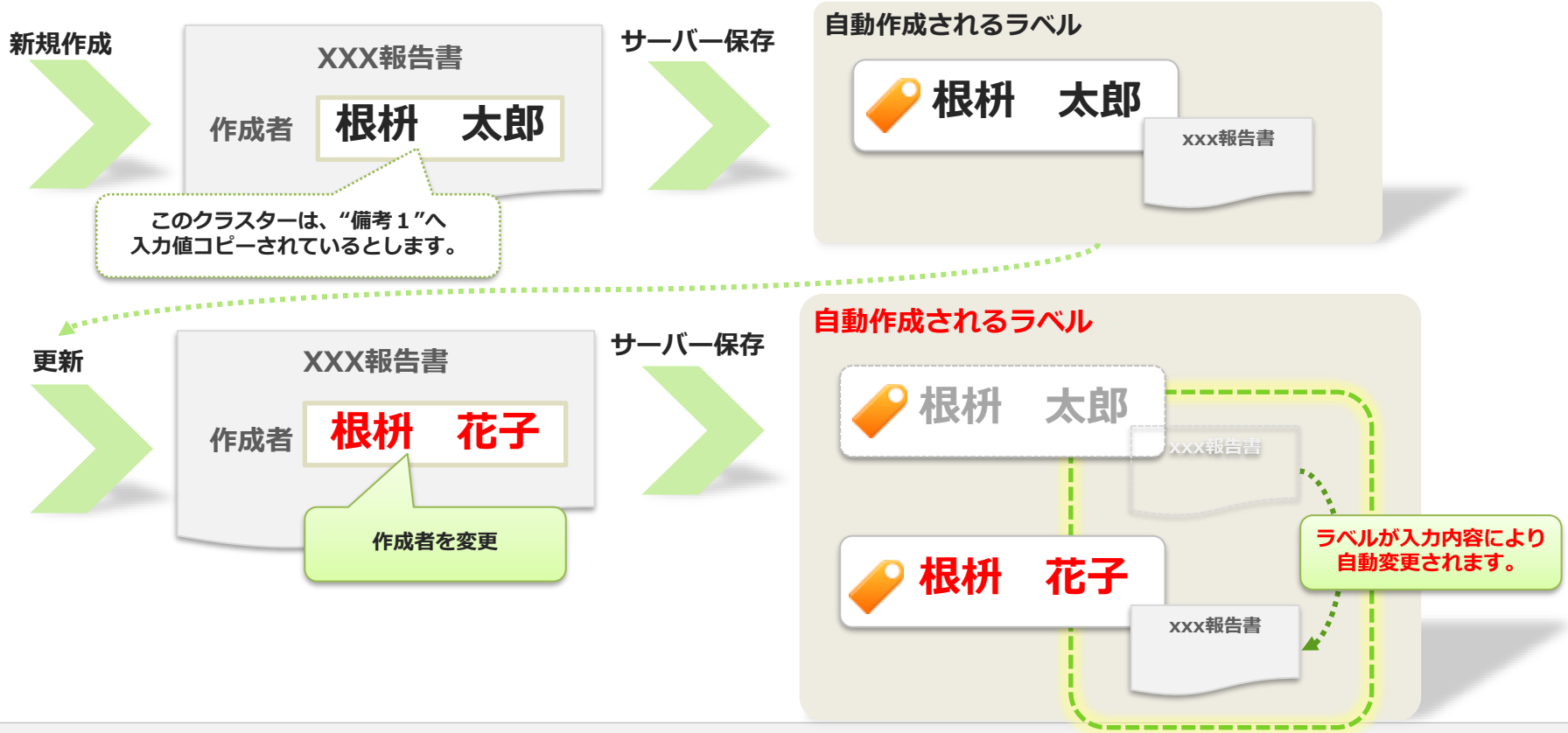
© CIMTOPS Corporation.

# 帳票更新による自動ラベルの変更

新規作成時だけでなく帳票の編集更新時（上書き時）にも自動ラベルを
帳票の編集結果内容で再生成し、付け直しします。

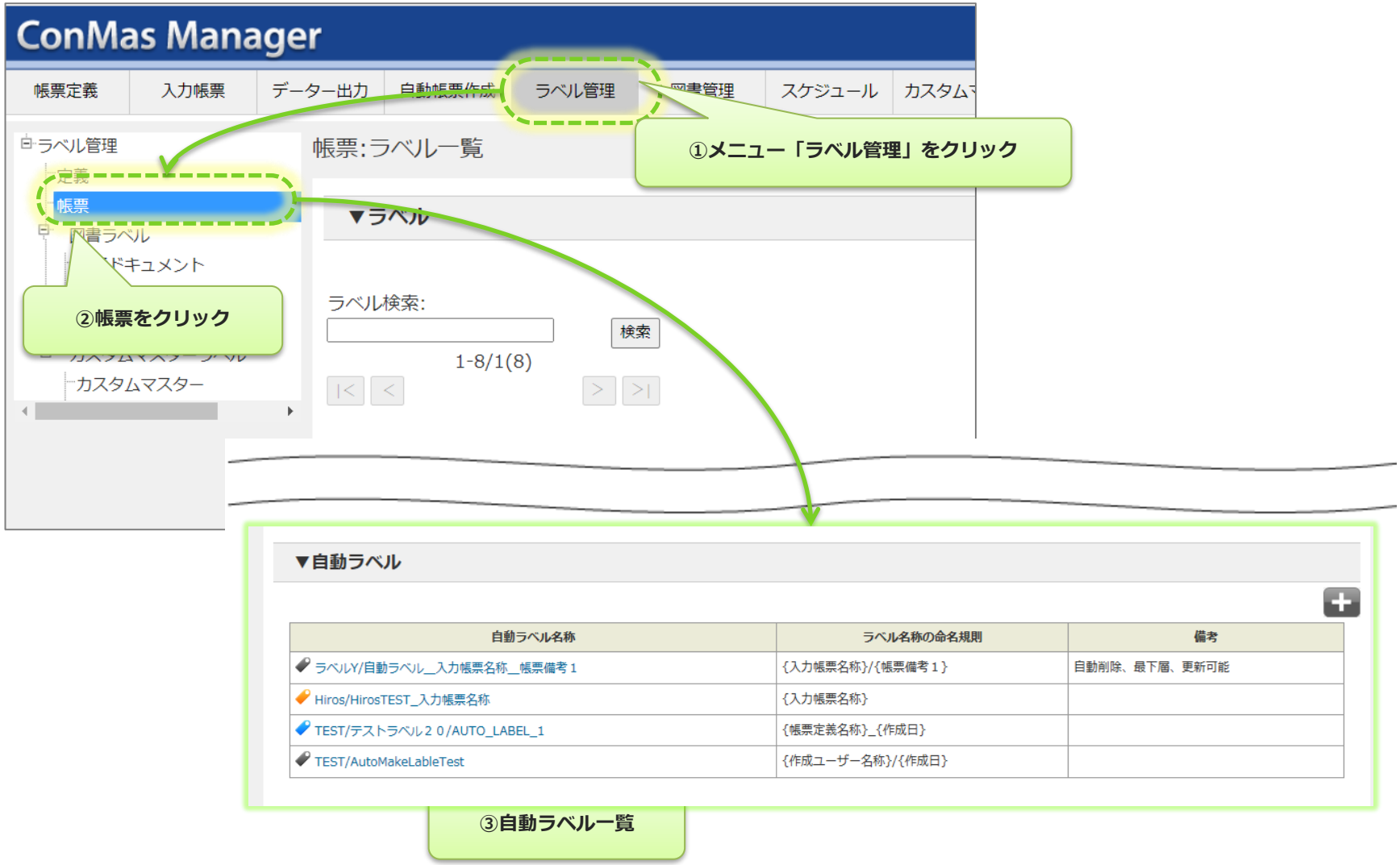
- 前回のクラスターの内容で付けられたラベルは、変更後のクラスターの内容でラベルが付け替ります。
  ※自動ラベルにて生成されたラベルに限り動作します。

例）ラベル名称の命名規則：{備考１}→クラスター値を備考１にコピーして自動ラベルを作成する設定の場合



# 帳票更新による自動ラベルの変更　設定手順①

設定は、Managerの自動ラベル設定で行います。



# 帳票更新による自動ラベルの変更　設定手順②

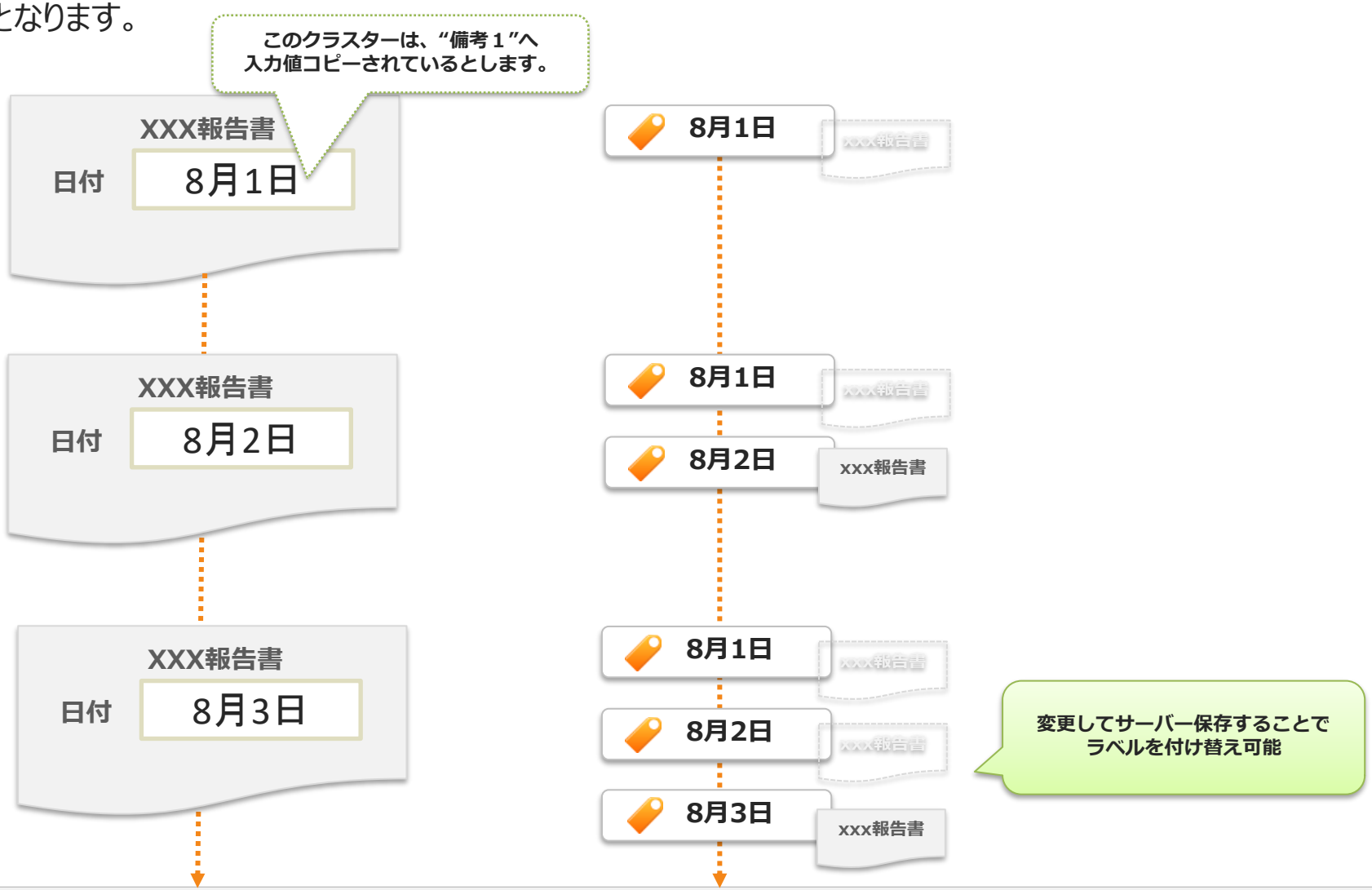
自動ラベル編集画面の「帳票の更新時にも動作させる」にて設定します。

- チェックなし：新規作成時のみ動作します。
- チェックあり：新規作成時、帳票更新時のどちらでも動作します。

# 帳票更新時の自動ラベル動作　ご利用例①

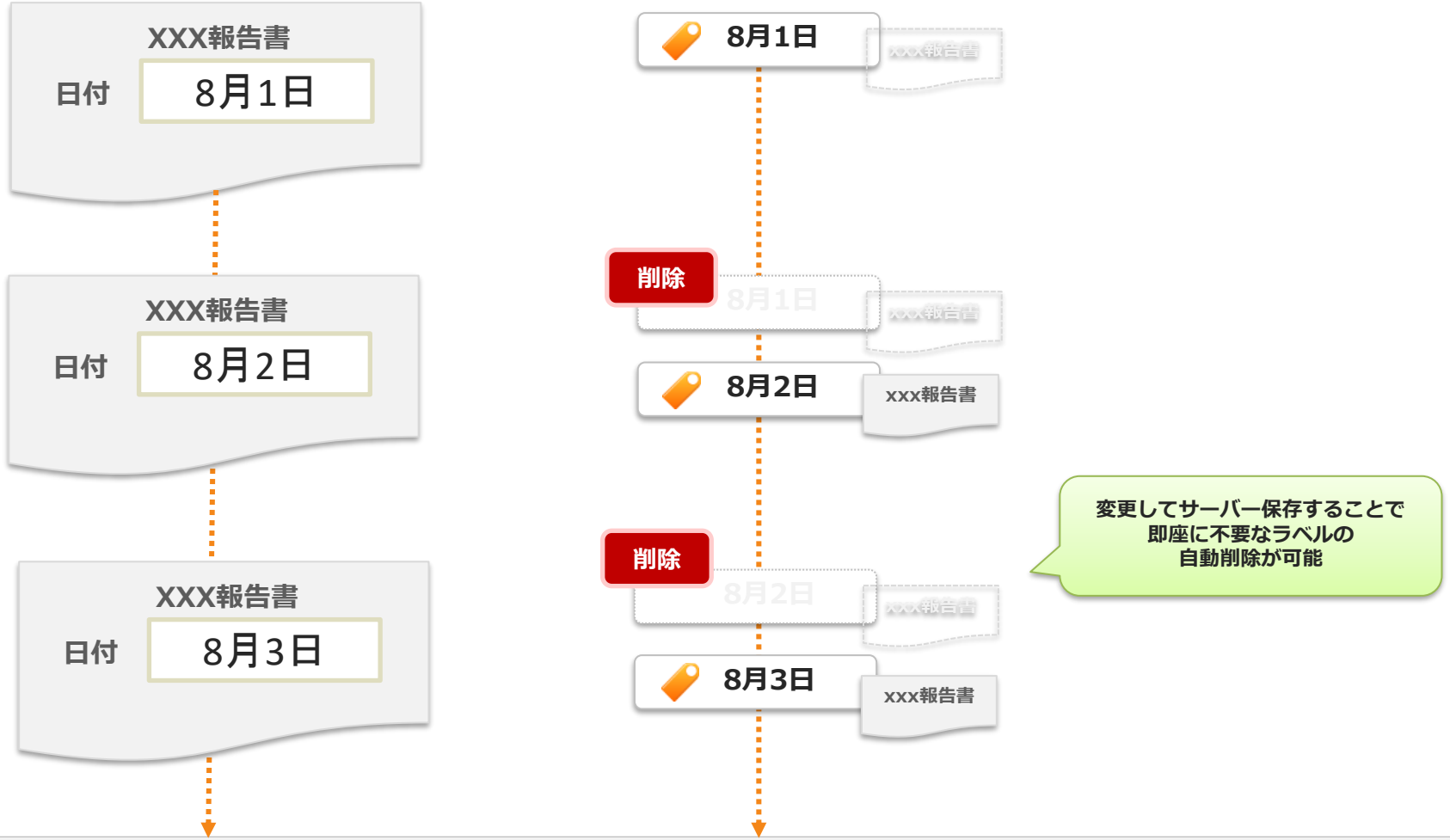
## １．クラスター入力値の備考へのコピーを組み合わせる

備考へのコピーと組み合わせることで、クラスター入力値の変更値でラベルの付け替えが可能となります。



# 帳票更新時の自動ラベル動作　ご利用例②

ラベル自動削除を有効にすると、他に帳票がなければ付け替えのタイミングで
ラベルが自動削除されるようになります。




© CIMTOPS Corporation.

# ローカル帳票ラベルについて

i-Reporterアプリのローカルにダウンロード、および保存された帳票（ローカル帳票）に設定されているラベルを表示する機能です。

※iOS版アプリのみの提供している機能となります。

# ローカル帳票ラベルについて

利用するには、アプリの設定 → 一般 → 「ローカル帳票のラベル表示」をONにします。

- ローカル帳票のラベル情報は、ローカルに保存されている間は更新されません。ローカルに帳票がダウンロードされた時点の情報でラベルが付きます。
- ローカル帳票ラベルとサーバー帳票ラベルは同期しません。
- ローカル定義より新規作成しローカル保存する帳票は、ローカル保存時に、定義に設定されている帳票ラベルの情報を基にローカル帳票ラベルが生成されます。

以下の条件を満たしている場合、ローカル帳票にラベルが表示されます。

- i-Reporterアプリが機能追加バージョン(6.3.19083)以上にアップデートされている。
- 接続するConMas Serverが機能追加バージョン(6.3.19081)にアップデートされている。
- i-Reporterアプリ設定で「ローカル帳票ラベルの表示」がオンに設定されている。
- 機能追加バージョンのConMas Serverからダウンロードした、帳票ラベル設定されている定義から作成された帳票である。

※iOS版アプリのみの提供している機能となります。

© CIMTOPS Corporation.